



みどり

1月号
令和2年1月8日
調布市立緑ヶ丘小学校
校長 鳥居 圭

E-mail
midorigaoka-sho@chofu-schools.jp

新しい年を新たな気持ちで

校長 鳥居 圭

“原点に還る”

新年明けましておめでとうございます。昨年は本校の教育活動への御理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございました。お陰様で運動会、展覧会等の大きな行事をはじめ、様々な教育活動を実践でき、子供たちも健やかに成長することができました。3学期は何かと気ぜわしい学期となりますが、引き続きご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、突然ですが、なぜ新年の始まりを「お正月」というのでしょうか。「お正月」の「正」にはどんな意味があるのでしょうか。疑問に思い調べてみました。諸説ありますが、「一」に「止まる（とどまる）」という解釈があるそうです。つまり、「一」とは「原点」であり、「自分が自分の原点に還る月」ということになります。そういえば、今年の干支の「子」も、十二支のスタート、出発点にあたります。私も、人として、小学生を育てる親として、子供たちと関わる教師として、もう一度「子育ての原点」を考えていく機会としたいと思います。

子供たちの「原点」は何でしょうか。例えば、美しいものを見たとき、駆け引きや損得なしに「美しい」と感じるができるような「素直な心」はその一つと言えると思います。子供たちは誰もがかならずその「素直な心」をもっています。その心が正しく伸びていくように、必要に応じて時々軌道修正しながら、私たち大人がそばで見守っていく必要があります。3学期は、1学期から大切に育ててきた芽が大きな実を結ぶ大切なまとめの時期です。また、学年の締めくくりと進級、進学のための準備の学期です。一日一日を大切に過ごさせることが肝要になってきます。

本年も児童、保護者、地域の皆様の心をつなぎ、一人一人が輝くことができるよう、教職員一同今後も職務に励んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

新教育課程の実施に向けて

さて、今年令和2年4月から、教育内容等の規準である新しい学習指導要領に基づく教育課程が本格実施となります。グローバル化や情報化がますます進んでいく中で、変化の激しい、不透明な未来社会を生き抜くための力を子供たちに付けていこう、という理念に則った内容となっています。

国語、算数、社会、理科等について、内容の一部の変更はあるものの、大きな変化はありませんが、道徳が教科となります。これは既に先行実施されているところです。これからの時代に必要なプログラミング教育も実施されます。本校ではまず5年生の算数における図形の学習の一部、6年生の理科における電気についての学習の一部で導入することを基本に考えています。また、新たに5、6年生で英語を年間70時間、3、4年生で外国語活動を年間35時間実施するようになります。これまで外国語活動は「話す」「聞く」を目的として実施してきましたが、新たに始まる英語は、これに「読み」「書き」が加わります。また、今夏に行われる東京2020オリンピック・パラリンピックへの対応などを踏まえると、来年度は教育計画を大きく見直していく必要があることがわかります。

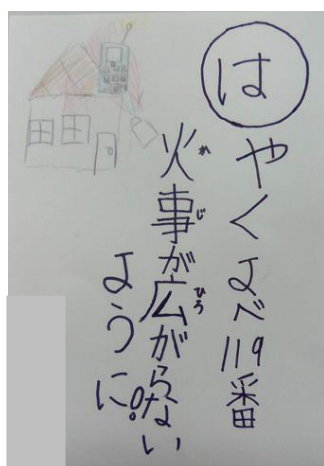
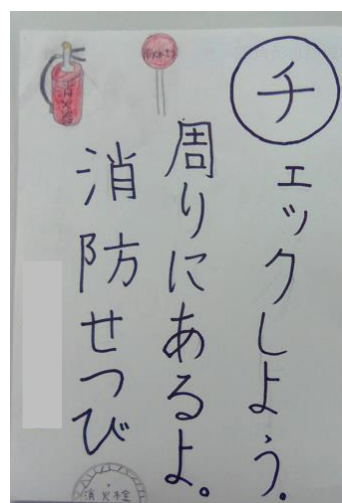
また、新しい内容を教えるために教員が授業力を身に付けるための研修や指導体制の確立、教師が過労死ラインを越えて働かなくともよい環境の整備等も重要な課題です。

年度末までにはしっかりと計画を立て、令和2年度の教育活動を進めていければと思っています。御理解、御協力をお願いいたします。

4年生特集号

4年生は、社会科の「安全な暮らしを守る」授業で、事故や事件、火災、災害から暮らしを守る人々の活動について学習しました。学習したことを生かして、自分たちや地域のみんなのできることを考え、標語にしました。

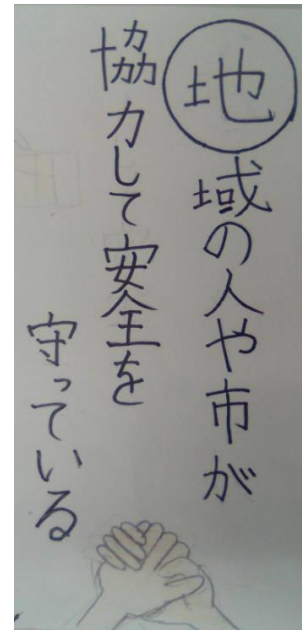
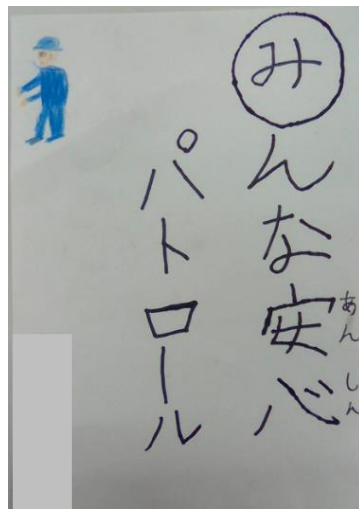
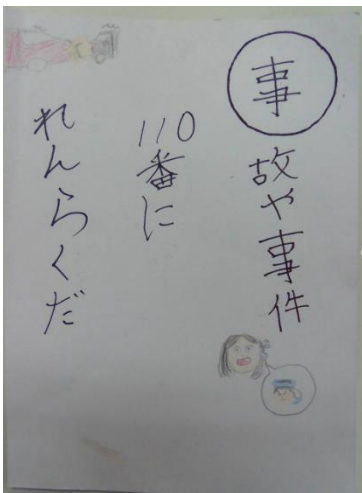
火災から暮らしを守る



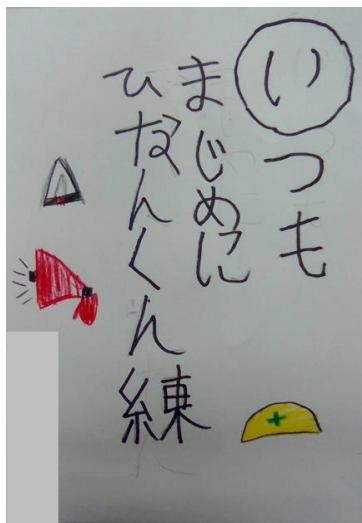
10月4日(金)に調布消防署のつつしが丘出張所へ、社会科見学に行きました。消火訓練や救助訓練を見せてもらったり、消防服に着替える実演もしていただいたりして、子供たちは興味津々でした。火災現場に少しでも早く駆けつけるために1分以内に着替えなければいけないことに感心していました。最後に子供たちは、たくさんの質問をして学習を深めました。



事故や事件からくらしを守る

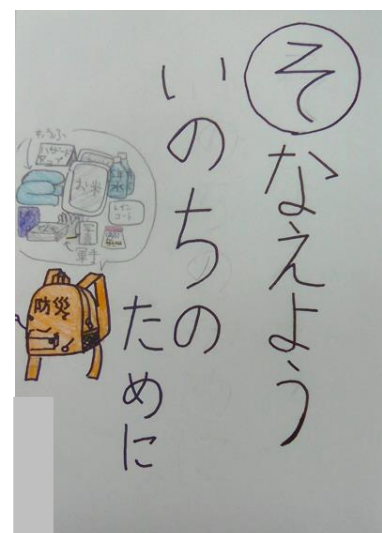


災害からくらしを守る



社会科の学習では、自分たちで疑問をもって予想を立て、資料で調べたり、調べたことをまとめたりして、国や東京都、調布市、地域の人々が協力して、多くの対策を実施していることなどを学びました。

これらの学習を踏まえて、自分たちにできることを標語や提言としてまとめました。特に災害については、「まちづくり協議会」の長谷川さんに提言を行いました。協議会通信に子供たちの「4 か条」が掲載されることになっています。学習したことを地域に発信することができ、子供たちには充実感がありました。出来上がりをお楽しみに！！



1月の行事予定		
日	曜日	行事予定 () は該当学年です。
7	火	冬季休業日終
8	水	始業式
9	木	給食始、身体計測 (5・6)
10	金	安全指導、身体計測 (3・4)、委員会活動
11	土	
12	日	
13	月	成人の日
14	火	ミドリンタイム、身体計測 (1・2) さわやかタイム (2・5)
15	水	たてわり班活動
16	木	書き初め展始、教育相談週間始
17	金	連合図工展始
18	土	土曜授業日、模擬選挙 (6)
19	日	
20	月	クラブ活動、避難訓練、連合図工展終
21	火	さわやかタイム (3・4)、ミドリンタイム
22	水	社会科見学 (5)
23	木	FC東京キャラバン隊 (5・6)
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	クラブ活動
28	火	さわやかタイム (1・6)、ミドリンタイム、 読み聞かせ (1)、書き初め展終、教育相談週間終
29	水	※4時間授業
30	木	FC東京キャラバン隊 (5・6)
31	金	

《書き初め展》

1月16日(木)～28日(火)まで、書き初め展を行います。

冬休みに練習した成果を生かし、3学期初めに学校で書いた書き初め(1・2年生は硬筆、3年生から6年生は毛筆)を展示します。

学校にお越しの際には、子供たちの作品をどうぞご鑑賞ください。

作品は各学年の廊下に展示してあります。

《算数習熟度指導について》

1、2年生の算数は、2人の教員で1学級の授業を行っています。多くの児童に寄り添い、わかる喜びやできる喜びを味わえるように進めています。

3年生以上の算数は、2学級を3つの習熟度別コースに分けて学習しています。指導に当たっては、教員間で十分に共通理解を図り、レディネステストを基に児童の希望も考慮してコースを決定しています。児童には、事前に習熟度の目的・習熟度別コースの学習の仕方・コースの選び方などを説明します。

ばっちりコースでは、言葉や図、表、グラフ等と関連付けていろいろな解法を考えていきます。

しっかりコースでは、習った事を使って自分で解決する喜びを味わい、解法の共通点・相違点に気付くようにします。

じっくりコースでは、スモールステップを踏んでわかる喜びを味わうようにします。

※今月から避難訓練は、予告なしで実施いたします。

＊1月の生活目標＊

『相手の顔を見てあいさつしよう』

新しい年がスタートしました。新たな抱負を抱き、新しい年の始まりに期待を膨らませていることと思います。1年の始まりの生活目標は、「相手の顔を見てあいさつしよう」です。新しい年が始まり、多くの人とあいさつをかわしたり、新年のあいさつをしたりとあいさつをする機会が多かったと思います。

また、新年に限らず、1日はあいさつで始まり、あいさつで終わります。きちんとあいさつをすると、あいさつをされた人はもちろん、あいさつをした人も気分がよくなります。

1日の良いスタートをきるためにも、今年一年気持ちよく過ごすためにも、相手の顔を見てあいさつをしていきましょう。